

# まちづくりは、 まず人づくりから

株式会社小田急レストランシステム 代表取締役社長  
ジローレストランシステム株式会社 代表取締役社長

朝日康之さん

Yasuyuki Asahi



静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

## 首都圏中心に計240店

転勤で静岡市に赴任。4年間過ごし、大の静岡ファンに。現在は都内に本社を置く小田急グループの飲食系2社のトップとして多忙な日々を送る。

ジローレストランシステムは、首都圏をはじめ仙台、名古屋、大阪、福岡で主にイタリアンの店を展開する。昨年、カンボジアにも出店。店舗数は約150店に上る。



### 経歴

東京都世田谷区生まれ。都立戸山高校卒業。早稲田大学政治経済学部卒業。1977年、小田急電鉄株式会社に入社。労務・人事、営業企画担当、広報部長、ホテルセンチュリー静岡(2005年～09年、会社名は株式会社ホテル小田急静岡)取締役社長、小田急電鉄常務取締役などを経て、14年、株式会社小田急レストランシステム、ジローレストランシステム株式会社代表取締役社長に就任。現在に至る。64歳。静岡勤務中の08年10月から3か月間、静岡新聞夕刊1面の「窓辺」に寄稿、好評を得た。  
<http://www.odakyu-restaurant.jp/>  
<https://www.giraud.co.jp/>

## 全国の天才児を静岡に

一方の小田急レストランシステムは、小田急線沿線の駅構内にあるそば店「箱根そば」やレストラン、カフェなどを運営し、神奈川、東京に93店舗を構える。両社の社長を引き受けて3年。「やはりお客さまの気持ちを読むということ、従業員の働きがいをつくることに腐心しています」。

静岡では、トップセールスで市役所や県庁などあちこち飛び回り、幅広い人脈を

築いた。「静岡市はその都市がうらやむようなポテンシャルを持っています。それをもっと生かすべきです」と指摘。その上で「よそ者の私が勝手なこと言ってお叱りを受けるかもしれませんが」と前置きし、「豊かな土壌、環境を利用し、人を育てる都市になってほしい」と訴える。具体的には、音楽、絵画などの芸術やスポーツに秀でた子どもたちを全国から集めて教育する、人材育成都市だ。

「それには名「コーチ、名音楽の招へいも必要です。ピアノやバイオリン、ダンスなど、磨けば光り輝く天才児は全国にいっぱいいると思うんです。その子どもたちの能力を市が支援して育てるのです。子どもたちが成長していく過程で、自然と必要となるものが出てきますので、それをハードとして整備されたいと思います」。

徳川家康が駿府に移り住んだ際、全国から多くの技術職人を集め、それが静岡の地場産業にも受け継がれたといわれる。「家康が能力のある職人を集めた、その歴史を生かしたらどうでしょう」とも。

「子どもや孫の世代を考えると、20年、30年の計として取り組み、全国に、世界に発信するまちになってほしいですね。子どもの才能を研ぎ澄ますには最高の都市だと思っています」。

(文・写真…長田義明)